

兵庫県のゴモクムシ類 (1)

森 正人¹⁾

はじめに

ゴモクムシ亜科 Harpalinae は日本に 4 族が知られており、兵庫県ではエグリゴモクムシ族 Amblystomini を除く 3 族が記録されている。一般に注目されることの少ない分類群であるが、肉食性がほとんどを占めるオサムシ科のなかでは、数少ない植物食主体の群で、また、各地での種数・個体数ともに多いことから、地域の生態系やファウナを知るうえでは重要である。一部の種群では種の区別が難しく、十分に分類を検討できなかった部分もあるが、この類の県内リストが整備されていないことから、これまでの情報を整理しておきたい。報告は 2 回に分け、今回はゴミムシ族とゴモクムシ族の一部を報告する。参考文献は次回にまとめて掲載する。

掲載記録は種ごとに文献記録と標本記録に分け、文献記録については記載された県内の記録地名と典拠情報を明記した。標本記録については、筆者実検したもの、手許にある県内標本のなかから、原則 1 産地 1 例とし、採集頭数・採集地・採集データを明記した。採集者については、筆者以外のものは採集者名を明記し、筆者採集のものはこれを省略した。生息環境や生態情報、全国分布、基産地情報などについても知り得た範囲で記述した。また、形態や色彩による特徴についても、出来るだけふれるように心がけた。族の扱いは「原色日本甲虫図鑑 (II)」に準じ、学名は概ね Löbl・Smetana(2003) に準拠した。

各種解説

ゴミムシ族 Tribe Anisodactylini

日本には 5 属が分布し、兵庫県ではこのうち 3 属が確認されている。

ゴミムシ属 Genus *Anisodactylus*

日本からは 4 種が知られており、県内にはそのすべてが分布している。

1. ゴミムシ *Anisodactylus (Pseudanisodactylus) signatus* (Panzer, 1797)

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 出石町 [高橋

匡, 1982]; 津名郡常隆寺山 [高橋寿郎, 1998]; 神河町砥峰高原 [八木剛ほか, 2003]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 川西市大和, 神戸市東垂水, 尼崎市 Kanzaki, 甲東園, 六甲山, 猪名川町日生ニュータウン, 西宮市御前浜, 川西市笹部, 宝塚市, 西宮市 Tsutoayaha, 西宮市下田船坂橋, 神戸市垂水区平磯, 川西市見野, 川西市若宮, 西宮市武庫川, 川西市山原 [高橋敏, 2012]

【標本記録】 15exs, 香美町ハチ北高原, 1-VI-2012; 17exs, 養父市ハチ高原, 19-V-2012; 4exs, 養父市八鹿町宿南円山川, 19-VI-2011; 2exs, 加古川市加古河川口, 4-IX-2011; 1ex, 三田市香下, 23-IX-2009; 1ex, 御津町 (揖保川), 10-X-2009; 3exs, 猪名川町大野山, 27-IV-1995; 3exs, 神戸市有野町, 4-VII-1987; 8exs, 神戸市藤原台, 25-VII-1987; 7exs, 伊丹市軍行橋 (猪名川), 27-X-2012.

基産地は Germany。日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布している。県内でも広汎に分布し各地で個体数も多い。耕作地や草地, 河川敷など開放的な草地環境に最も普通に見られる種類である。春先には昼間でも頻りに飛翔し, 夜間は灯火にも多く飛来する。澄川 (2009) は本種が夜間, アキメヒシバの種子を食する事を観察し報告している。

2. ホシボシゴミムシ *Anisodactylus (Pseudanisodactylus) punctatipennis* Morawitz, 1862

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 洲本市先山 [堀田, 1976]; 豊岡市ほか [高橋匡, 1982]; 篠山町雨石山 [林靖彦ほか, 1995]; 津名郡常隆寺山 [高橋寿郎, 1998]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 東浦町河内, 西宮市 Jurinji-Asumi Fall, 川西市大和, 甲東園, 加古川市, 姫路市夢前川, 西宮市武田尾, 佐用町大撫山, 宝塚市, 川西市笹部, 川西市東畦野, 猪名川町内馬場, 川西市一の鳥居, 淡路島東浦町白山 [高橋敏, 2012]

【標本記録】 4exs, 新宮町栗柄川, 13-V-2012; 8exs, 御津町 (揖保川) 7-VII-2003; 3exs, 小野市加古川, 15-VII-2012; 2exs, 小野市久我町加古川, 16-X-2010; 3exs, 加古川市八幡町 (加古川), 24-V-2010.

基産地は Hakodate。日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布している。本種も県内に広く見られ河川敷などの草地環境に多い。次種と混生することは意外と

¹⁾ Masato MORI 環境科学大阪 株式会社

少なく、どちらかが優占することが多いが、その要因はよくわからない。灯火にも飛来する。

3. オオホシボシゴミムシ *Anisodactylus* (*Pseudanisodactylus*) *sadoensis* Schaubberger, 1931

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 出石町ほか [高橋匡, 1982]; 津名郡常隆寺山 [高橋寿郎, 1998]; 甲東園, 神戸市舞子浜, 加古川市加古川, 姫路市夢前川, 川西市笹部, 明石市松江海岸 [高橋敏, 2012]

【標本記録】4exs, 養父市八鹿町伊佐円山川, 24-IX-2011; 3exs, 養父市八鹿町宿南円山川, 19-VI-2011; 6exs, 香美町ハチ北高原, 1-VI-2012; 2exs, 加西市青野ヶ原, 21-VI-1994; 10exs, 小野市加古川, 15-VII-2012; 11exs, 小野市久我町加古川, 16-X-2010; 25exs, 加古川市加古川河口, 4-IX-2011; 5exs, 神戸市道場 (武庫川), 5-V-2011.

基産地は Sado, Tokio. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布している。前種とよく似るが前胸背後角の形状で区別できる。前種と同じような環境に生息するが、やや標高の高い場所では本種の方が多い傾向がある。灯火にも飛来する。

4. ヒメゴミムシ *Anisodactylus* (*Anisodactylus*) *tricuspidatus* Morawitz, 1863

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 篠山町雨石山 [林靖彦ほか, 1995]; 扇ノ山 [高橋匡, 1982]; 波賀町赤西, 東浦町河内, 甲東園, 神戸市住吉, 神戸市山の街, 西宮市公智神社, 川西市横地, 笹部, 猪名川町内馬場, 淡路島東浦町釜口, 白山 [高橋敏, 2012]

【標本記録】2exs, 香住町小原, 10-VI-2001; 1ex, 養父市氷ノ山 1200m, 24-VII-2004; 1ex, 朝来町段ヶ峯 1000m, 30-VI-2007; 1ex, 神河町千町峠 900m, 15-VI-2007; 1ex, 一宮町暁晴山 950m, 25-VII-1999; 1ex, 神河町砥峰高原, 21-V-2011; 3exs, 姫路市青山姫路観察の森, 31-V-2013; 1ex, 神戸市藍那, 7-VI-2002; 3exs, 洲本市柏原山, 26-V-2002.

基産地は Hakodate. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布し, 南西諸島でも記録がある。本属の中では個体数が最も少なく, 比較的標高の高い樹林で見られるが, 平地にも出現する。松本 (2010) や石谷 (1996) は森林生息種として扱っている。

ツヤハネゴミムシ属 Genus *Harpalominetes*

日本では 2 種が知られており, 県内には次の 1 種が分布している。

5. タナカツヤハネゴミムシ *Harpalominetes orbicollis* N. Ito, 1995

【文献記録】川西市大和 [高橋敏, 2012]

【標本記録】1ex, 小野市青野ヶ原, 11-IV-1991; 1ex, 加古川市八

幡, 28-V-2010; 5exs, 加古川市権現湖, 29-VI-2014; 12exs, 神戸市藍那, 4-VI-2003; 20exs, 宝塚市玉瀬, 26-IX-2010.

本州, 四国, 九州に分布する。本種は当初 *Harpalominetes andrewesi* Schaubberger, 1933 (中国原産) として扱われていたもので, Habu (1968) は *Anisodactylus* 属とし, Ito (1995) がこれとは異なるとして上記種名で新種記載したものである。比較的珍しいとされていたが, 放棄水田など湿地環境に生息し, 場所によって個体数は多い。ゴミムシ属の種とは, 生息環境が大きく異なることや, 前胸背が丸いこと, 上翅の虹状光沢が強いことなど識別は易しい。

フトゴモクムシ属 Genus *Chydaeus*

日本では 4 種が知られており, 県内では次の 1 種を確認している。

6. シコクフトゴモク *Chydaeus shikokuensis* Habu, 1973

【標本記録】2exs, 洲本市柏原山, 10-X-2004; 2exs, 三原町論鶴羽山, 14-X-2001.

基産地は徳島県大滝山。 *Chydaeus* 属は九州に 2 種 (*C. constrictus* Bates, 1883, *C. kirishimanus* Habu, 1973), 本州に 1 種 (*C. shibatai* Habu, 1973), 四国に本種が知られている。いずれも体長 10mm 前後でお互いによく似ており, 淡路島で得られる個体の分類研究は充分ではないが, ♂交尾器先端部の形態から判断して, ここではシコクフトゴモクムシとして報告しておく。生息環境は樹林林床で, ナガゴミムシ類やチビゴミムシ類の採集副産物として得られた。

ゴモクムシ族 Tribe Harpalini

日本には 7 属が知られており, 兵庫県ではこのうち 5 属を確認した。

ゴモクムシ属 Genus *Harpalus*

日本では 34 種が知られており, 県内では次の 18 種が確認された。

7. オオゴモクムシ *Harpalus* (*Pseudoophonus*) *capito* Morawitz, 1862

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 宝塚市 [新家勝, 1988]; 洲本市安乎町 [高橋寿郎, 1998]; 豊岡市ほか [高橋匡, 1982]; 甲東園, 神戸市御影, 加古川市, 武庫川, 川西市見野, 笹部, 大和 [高橋敏, 2012]

【標本記録】1ex, 豊岡市神鍋高原, 11-X-2011; 6exs, 養父市八鹿町伊佐円山川, 24-IX-2011; 4exs, 養父市八鹿町宿南円山川, 19-VI-2011; 2exs, 養父市ハチ高原, 14-IX-2013; 2exs, 御津町 (揖保川) 7-VII-2003; 2exs, 小野市加古川, 15-VII-2012; 2exs, 小野市久我町加古川, 16-X-2010; 3exs, 加古川市八

幡町,20-X-2010;2exs,伊丹市軍行橋(猪名川),17-XI-2011;3exs,神戸市北区道場,9-IX-1997.

基産地は Japon. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布している. 日本産では本族で最も大型で, 特に頭部が大きいのが特徴である. やや湿った草地環境で見られるがそれほど多くはない.

8. ケゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) ussuriensis vicarius* (Harold, 1878)

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介,1975];宝塚市 [新家勝,1988];洲本市安乎町ほか [高橋寿郎,1998];日高町ほか [高橋匡,1982];甲東園 [高橋敏,2012]

【標本記録】4exs,豊岡市神鍋高原,11-X-2011;3exs,養父市ハチ高原 950m,30-VIII-2011;4exs,養父市杉ヶ沢 700m,28-VIII-2011;1ex,神戸市有馬,15-VIII-1986;6exs,神戸市藍那,10-X-2011;2exs,三原町論鶴羽山,6-X-2001.

亜種の基産地は Nagasaki, Nikko. 北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布している. 多い.

9. ヒメケゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) jureceki* (Jedlicka, 1982)

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975];出石町 [高橋匡,1982];神河町砥峰高原 [八木剛ほか,2003];川西市大和,笹部,東畦野,佐用町大撫山,猪名川町上原,家島町真浦,川西市見野,猪名川町日生ニュータウン [高橋敏,2012]

【標本記録】3exs,養父市八鹿町宿南円山川,19-VI-2011;2exs,豊岡市神鍋高原,28-VIII-2011;2exs,上郡町鞍居川,9-VII-2011;4exs,御津町(揖保川)7-VII-2003;2exs,篠山市福住の池,9-X-2011,伊藤主計;2exs,加古川市八幡町,20-X-2010;2exs,加古川市八幡町(加古川),14-VII-2011;10exs,加古川市加古川河口,4-IX-2011;2exs,三田市(武庫川),20-IX-2010.

基産地は Sachalin, Ussuri. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布し, 各地で個体数が多い.

10. ケウスゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) griseus* (Panzer, 1797)

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975];豊岡市 [高橋匡,1982];多可郡中町 [松尾隆人,2003];明石市,川西市大和,神戸市東垂水,西宮市甲子園浜,甲東園,姫路市の形海岸,明石市松江海岸,川西市笹部,神戸市住吉,神戸市須磨浦公園,川西市見野,猪名川町上原,家島町真浦,川西市一庫 [高橋敏,2012]

【標本記録】3exs,養父市八鹿町宿南円山川,19-VI-2011;11exs,豊岡市神鍋高原,28-VIII-2011;3exs,揖保川町野田(揖保川),16-X-2011;7exs,御津町(揖保川)7-VII-2003;1ex,赤穂市御崎丸山海岸,11-X-2014;1ex,大河内町千町ヶ峰,27-VIII-2005;2exs,加古川市八幡町,20-X-2010;5exs,加古川市加古川河口,4-IX-2011;17exs,姫路市広畑夢前川,16-X-2010;5exs,伊丹市軍行橋(猪名川),27-X-2012;18exs,神戸市藤原台,17-VI-

1987;2exs,西宮市山口町金仙寺湖,8-IX-2011;3exs,神戸市淡河,2-X-2011;2exs,明石市東二見,18-IX-2011;5exs,三原町灘土生,24-IX-2000.

基産地は Germany. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布し, 前種とともに個体数が多い. 前種と似ているが頭楯の毛の数で区別ができる. 澄川(2009)は本種が夜間, アキメヒシバの種子を食する事を観察し報告している.

11. オオズケゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) eous* Tschitscherine, 1901

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975];宝塚市 [新家勝,1988];豊岡市ほか [高橋匡,1982];川西市大和,神戸市舞子浜,甲東園,川西市笹部,美方町 Sonae,猪名川町上原,川西市一庫 [高橋敏,2012]

【標本記録】3exs,豊岡市神鍋高原,11-X-2011;3exs,養父市八鹿町宿南円山川,19-VI-2011;2exs,相生市三濃山,3-VII-1999;2exs,加東市上田(加古川),24-X-2009;8exs,三木市志染町戸田,22-X-2011;2exs,加古川市加古川河口,4-IX-2011;7exs,加古川市八幡町,20-X-2010;2exs,西宮市山口町金仙寺湖,8-IX-2011;2exs,伊丹市軍行橋(猪名川),27-X-2012;2exs,三田市(武庫川),20-IX-2010;16exs,神戸市淡河,2-X-2011.

基産地は Mantschurie, Japan. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布し, 各地で個体数が多い. 名前のおり頭部がやや大きく, 前胸背側縁刺毛の数が多いことで区別ができる. 澄川(2009)は本種が夜間, アキノエノコログサとキンエノコロの種子を食する事を観察し報告している.

12. ニセケゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) pseudophonoides* Schaubberger, 1930

【文献記録】城崎町 [高倉康男,1979];Akazai Val.[B.M.Kataev,1997];三原郡福良 [高橋寿郎,1998];多可郡中町 [松尾隆人,2003];宝塚市,淡路月の山観音 [高橋敏,2012]

【標本記録】1ex,香美町ハチ北高原,1-VI-2012;2exs,一宮町小原,6-IX-1995;1ex,神戸市藍那,10-X-2011.

基産地は Osaka. 日本では本州, 四国, 九州に分布する. この仲間では珍しく, 主に山地の樹林林床に生息し, 個体数も多くはない. 前胸背の後角は角張るが側方へ反ることはない.

13. *Harpalus (Pseudoophonus) aenigma* Tschitscherine, 1897

【文献記録】Mikusa Mt., Rokko Mt., Maya Mt., Onzui Val., Akazai Val. [B.M.Kataev,1997]

【標本記録】1ex,一宮町小原,6-IX-1995;2exs,三原町論鶴羽山,30-X-1999;5exs,洲本市成相谷,12-X-2002;3exs,洲本市柏原山,14-X-2006;4exs,三原町灘土生,24-IX-2000.

基産地は Korea. 本州, 九州に記録がある. 前種に

似ているが、前胸背の後角は側方にわずかに反る。前種と同じような環境に生息している。この種の分布状況はよくわかっていない。いまのところ和名の提唱はない。

14. コゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) tridens* Morawitz, 1862

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 三原郡福良ほか [高橋寿郎, 1998]; 氷ノ山 [高橋匡, 1982]; 神河町砥峰高原 [八木剛ほか, 2003]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 川西市大和, 神戸市東垂水, 甲東園, 猪名川町馬場, 川西市笹部 [高橋敏, 2012]

【標本記録】1ex, 香美町小代区平野, 25-VII-2012; 伊藤主計; 2exs, 八鹿町, 22-X-1994; 2exs, 養父市ハチ高原, 14-IX-2013; 2exs, 養父市八鹿町宿南円山川, 19-VI-2011; 1ex, 神河町峰山高原, 16-VI-2007; 3exs, 上郡町鞍居川, 9-VII-2011; 1ex, 上郡町神明寺, 16-X-2011; 2exs, 御津町 (揖保川) 7-VII-2003; 6exs, 小野市久我町加古川, 16-X-2010; 5exs, 加古川市加古川河口, 4-IX-2011; 1ex, 三木市戸田, 4-XI-2013; 1ex, 稲美町宮池, 10-VI-2012; 2exs, 加西市青野ヶ原, 21-V-1994; 1ex, 伊丹市軍行橋 (猪名川), 26-X-2007; 6exs, 神戸市山田町, 29-IX-1976; 3exs, 神戸市藤原台, 13-VII-1987.

基産地は Hakodate. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布しているが, 個体数はそれほど多くはない。

15. ウスアカクロゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) sinicus* Hope, 1845

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 豊岡市 [高橋匡, 1982]; 神河町砥峰高原 [八木剛ほか, 2003]; 芦屋市, 淡路 Kamaguchi 海岸, 甲東園, 西宮市御前浜, 川西市笹部, 神戸市須磨浦海岸, 川西市一庫, 大和, 猪名川町上原 [高橋敏, 2012]

【標本記録】3exs, 豊岡市神鍋高原, 11-X-2011; 3exs, 養父市ハチ高原 950m, 30-VIII-2011; 17exs, 養父市八鹿町宿南円山川, 19-VI-2011; 5exs, 御津町 (揖保川) 7-VII-2003; 1ex, 赤穂市御崎丸山海岸, 11-X-2014; 2exs, 三木市志染町戸田, 22-X-2011; 12exs, 加古川市加古川河口, 4-IX-2011; 4exs, 加古川市八幡町, 20-X-2010; 5exs, 姫路市広畑夢前川, 16-X-2010; 3exs, 三木市戸田, 4-XI-2013; 7exs, 伊丹市軍行橋 (猪名川), 27-X-2012; 2exs, 尼崎市善法寺 (藻川), 13-X-2012; 2exs, 西宮市山口町金仙寺湖, 8-IX-2011; 8exs, 神戸市藤原台, 17-VI-1987; 3exs, 神戸市藤原台, 13-VII-1987; 4exs, 神戸市山田町, 29-IX-1976; 3exs, 三原町灘土生, 24-IX-2000.

基産地は China. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州, 南西諸島に広く分布し, 個体数も一般に多い。澄川 (2009) は本種が夜間, アキメヒシバとイヌビエの種子を食する事を観察し報告している。

16. クロゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) pastor niigatanus* Schaubberger, 1929

【文献記録】南淡町阿万東町, 姫路市 Fukudomari 海岸, 甲東園, 神戸市舞子浜, 姫路市の形海岸, 神戸市須磨浦海岸, 美方町 Sonae, 宝塚市, 伊丹市猪名川, 川西市笹部 [高橋敏, 2012]

【標本記録】3exs, 豊岡市神鍋高原, 11-X-2011; 4exs, 養父市ハチ高原 950m, 30-VIII-2011; 4exs, 養父市八鹿町宿南円山川, 19-VI-2011; 1ex, 佐用町大撫山, 1-X-1994; 1ex, 御津町 (揖保川), 10-X-2009; 4exs, 姫路市浜手緑地, 27-IX-1989; 2exs, 姫路市の形海岸, 18-IX-2011; 5exs, 加東市上田 (加古川), 24-X-2009; 2exs, 三木市志染町戸田, 22-X-2011; 8exs, 小野市久我町加古川, 16-X-2010; 2exs, 姫路市広畑夢前川, 16-X-2010; 2exs, 西宮市生瀬, 23-IX-2011; 3exs, 伊丹市軍行橋 (猪名川), 27-X-2012; 2exs, 三原町灘土生, 24-IX-2000.

亜種の基産地は Niigata. 北海道, 本州, 四国, 九州に分布し, 南西諸島にも見られる。個体数はそれほど多くはない。

17. ニセクロゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) simplicidens* Schaubberger, 1929

【標本記録】2exs, 豊岡市神鍋高原, 28-VIII-2011; 2exs, 神戸市藤原台, 13-VII-1987; 5exs, 養父市ハチ高原 950m, 30-VIII-2011.

基産地は Ussuri, Mongolei, Korea, Osaka. 北海道, 本州, 四国, 九州に分布し, 南西諸島にも記録がある。兵庫県内の文献記録は見つからなかった。産地数や個体数は少ない。

18. トゲアシゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) calceatus* (Duftshmid, 1812)

【文献記録】加古川市平岡町新在家 [石田裕, 1957]; 氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]

【標本記録】15exs, 豊岡市日高町神鍋高原, 28-VIII-2011.

基産地は Austria. 北海道, 本州, 四国, 九州に分布するが, 産地は少ない。兵庫県では神鍋高原の灯火で得られただけである。以前は, *Paldileus* 亜属に含まれていたが, 現在は表記の亜属として扱われている。

19. ヒラタゴモクムシ *Harpalus (Loboharpalus) platynotus* Bates, 1873

【文献記録】Hiogo [Bates: 1873]; 淡路島吹上浜, 姫路市の形, 竹野町 Kirihama 海岸, 甲東園, 神戸市舞子浜, 宝塚市仁川, 神戸市須磨浦海岸, 西宮市甲子園浜 [高橋敏, 2012]

【標本記録】3exs, 姫路市の形, 27-IX-1989; 4exs, 加東市上田 (加古川), 24-X-2009; 2exs, 小野市久我町加古川, 16-X-2010; 9exs, 西宮市生瀬, 23-IX-2011; 1ex, 南淡町吹上浜, 14-X-2001.

基産地は Hiogo. 北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。海岸や河川敷などの砂地の開放環境に生息している。

20. アカゴモクムシ *Harpalus (Loboharpalus) rubefactus* Bates, 1873

【文献記録】 Hiogo[Bates:1873]

基産地は Hiogo. 本州に分布する種のようにであるが、記載以降の情報に乏しく、実態がよくわからない。

21. ツヤアオゴモクムシ *Harpalus (Harpalus) chalcatus* Bates, 1873

【文献記録】 Hiogo[Bates:1873]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 神戸市 Ichinosan, 甲東園, 神戸市御影, 川西市笹部, 神戸市本山 [高橋敏,2012]

【標本記録】 2exs, 香美町ハチ北高原,1-VI-2012; 1ex, 稲美町宮池,10-VI-2012;1ex, 神戸市淡河,4-III-2007;2exs, 神戸市灘区浜中町,24-X-2007;1ex, 明石市瀬戸川,9-IV-2004;1ex, 西宮市すみれ台,4-VI-2006;1ex, 西宮市武田尾,12-IV-2012, 伊藤主計.

基産地は Hiogo, Nagasaki, Korea, China. 本州, 四国, 九州に分布する. ♂は緑銅または銅色光沢が強いが, ♀は光沢を欠いている. 開放環境に生息するが, 他のゴモクムシが多い場所ではあまり見られず, 耕作地や公園などの裸地的な場所で見られることが多い.

22. チョウセンゴモクムシ *Harpalus (Harpalus) crates* Bates, 1883

【文献記録】 三木市志染町戸田, 神戸市有野町淡河 [森正人,2012]; 武庫川, 六甲山 [吉武啓ほか,2011]

【標本記録】 1ex, 三木市美養川,13-III-1998;16exs, 三木市志染町戸田,22-X-2011;1ex, 西宮市すみれ台,7-V-1994;1ex, 神戸市淡河,30-III-1997.

基産地は Korea. 本州に分布する. 個体数の少ない種類で, この類としては珍しく環境省の RDB にも選定されている. 森 (2012) は兵庫県三木市における観察から, この種類がメドハギに強く食餌依存している可能性を報告している. 本種やトゲアシゴモクムシなど個体数の少ないゴモクムシは, 特殊な環境や食餌に依存している可能性があり, この探索はおもしろいテーマである.

23. マルガタゴモクムシ *Harpalus (Harpalus) bungii* Chaudoir, 1844

【標本記録】 5exs, 養父市鉢伏高原,28-IV-2012.

基産地は Altai, Mongol. 日本では本州, 四国, 九州に分布するとされる. 兵庫県ではこれまで記録がなかったが, 鉢伏高原で採集された個体は, 本種の可能性がある. 日本にはこれによく似た *H. modestus* Dejean, 1829 が分布するとされているが, その区別は難しそうである. ここでは表記の種として報告しておく.

24. アカアシマルガタゴモクムシ *Harpalus (Zangoharpalus) tinctulus tinctulus* Bates, 1873

【文献記録】 篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 氷ノ山 [高橋匡,1982]; 神戸市六甲山 [八木剛ほか,2002]; 神戸市東垂水, 猪名寺, 猪名川, 西宮市甲子園, 甲東園, 舞子浜, 明石市松江海岸, 但馬 Moroyose, 加古川市, 川西市西畦野, 西宮市御前浜, 六甲山, 川西市笹部, 神戸市須磨浦公園, 神戸市住吉, 宝塚市, 猪名川町上阿古谷, 尼崎市道意町, 尼崎市南武庫之荘, 芦屋市芦屋川, 西宮市甲山 [高橋敏,2012]

【標本記録】 1ex, 豊岡市神鍋高原,1-VI-2012;6exs, 香美町ハチ北高原,1-VI-2012;2exs, 大屋町新津,28-IX-1997;1ex, 赤穂市千種川,9-XII-2000;2exs, 姫路市の形海岸,18-IX-2011;6exs, 加古川市加古川河口,3-X-2009;7exs, 伊丹市軍行橋 (猪名川),17-XI-2011;2exs, 西宮市武田尾,12-IV-2012, 伊藤主計;4exs, 西宮市すみれ台,4-VI-2006;3exs, 洲本市成相谷,12-X-2002;1ex, 洲本市先山,13-X-2000.

基産地は Nagasaki, Korea, China. 日本では北海道から本州, 四国, 九州に広く分布する普通種. ♀はやや光沢が鈍い.

ハコダテゴモクムシ属 Genus *Nipponoharpalus*

日本には 1 種が知られており, 県内にも分布する.

25. ハコダテゴモクムシ *Nipponoharpalus discrepans* Morawitz, 1862

【文献記録】 氷ノ山 [高橋匡,1982]; 北淡町 Esaki-todai [高橋敏,2012]

【標本記録】 1ex, 養父市八鹿町円山川,19-VI-2011;1ex, 小野市久茂町加古川,2-X-2011;1ex, 宝塚市武田尾,12-IV-2012, 伊藤主計採集;1ex, 神戸市烏原,17-VI-2012.

基産地は Hakodate. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布するが, それほど多いものではない. 本種にも生態的な興味がある.

カラカネゴモクムシ属 Genus *Platymesopus*

日本には 1 種が知られており, 県内にも分布する.

26. カラカネゴモクムシ *Platymesopus flavilabris* (Fabricius, 1798)

【文献記録】 Hiogo[Bates:1873]; 氷上郡 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 但東町ほか [高橋匡,1982]; 南淡町吹上浜 [稲畑憲昭,2003]; 甲東園, 逆瀬川 [高橋敏,2012]

【標本記録】 8exs, 明石市東二見,18-IX-2011.

基産地は India. 北海道, 本州, 四国, 九州, 南西諸島に分布する. 公園やグラウンド, 果樹園など乾燥地環境に多い.

クビナガゴモクムシ属 Genus *Oxycentrus*

日本には2種が知られており, 1種が県内に分布する.

次回は, ゴモクムシ族の残りともメゴモクムシ族について報告する予定である.

27. クビナガゴモクムシ *Oxycentrus argutoroides* (Bates, 1873)

【文献記録】川西市笹部 [高橋敏, 2012]

【標本記録】2exs, 大屋町新津, 28-IX-1997; 1ex, 上月町上秋里, 16-V-1999; 2exs, 加古川市八幡町 (加古川), 24-V-2010; 2exs, 三木市志染町, 24-I-2011; 2exs, 小野市 (加古川), 15-VIII-2012; 1ex, 加美町山口, 30-VII-2002; 1ex, 朝来市生野白口, 23-VII-2007; 1ex, 三田市小柿, 30-VII-2005; 1ex, 相生市三濃山, 23-X-1999; 1ex, 洲本市先山, 1-VIII-2009; 1ex, 洲本市鮎屋川, 19-IX-1998; 1ex, 洲本市柏原山, 26-V-2002; 1ex, 家島本島, 19-VIII-1989.

基産地は Nagasaki. 本州, 四国, 九州に分布する. 樹林林床などで見られることが多い.



1. ゴミムシ



2. ホシボシゴミムシ



3. オオホシボシゴミムシ



4. ヒメゴミムシ



5. タナカツヤハネゴミムシ



6. シコクフトゴモクムシ



7. オオゴモクムシ



8. ケゴモクムシ



9. ヒメケゴモクムシ



10. ケウスゴモクムシ



11. オオズケゴモクムシ



12. ニセケゴモクムシ



13. *Harpalus aenigma*



14. コゴモクムシ



15. ウスアカクロゴモクムシ



16. クロゴモクムシ



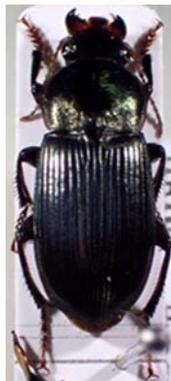
17. ニセクロゴモクムシ



18. トゲアシゴモクムシ



19. ヒラタゴモクムシ



21-1. ツヤアオゴモクムシ♂



21-2. ツヤアオゴモクムシ♀



22. チョウセンゴモクムシ



23. マルガタゴモクムシ



24. アカアシマルガタゴモクムシ



25. ハコダテゴモクムシ



26. カラカネゴモクムシ



27. クビナガゴモクムシ